

(別記様式第3号)

論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博(医)甲第1204号	氏名	HAMISI KIMARO SHABANI
論文審査担当者		主査教授	永田 泉
		副査教授	関根 一郎
		副査教授	永安 武
論文審査の結果の要旨			
1. 研究目的の評価 本研究は癌の脳転移に関するメカニズムの一端を解明しようとしたもので、目的は十分に妥当である。			
2. 研究手法に関する評価 研究成果を左右する種々の標本選択バイアスを同一症例の癌原発巣組織および脳転移組織の検討を含み免疫組織学的検討を加える事などにより除外するように計画され、免疫組織学的評価法にも labeling index を用い客観的評価を試みている。更に種々の統計学的解析法で解析を加えるなど研究手法も妥当である。			
3. 解析・考察の評価 上記研究手法で解析した結果、癌の脳転移においてはE カドヘリンの再発現が重要な要素の一つである事を明らかにし、今後の転移性脳腫瘍研究への進展が大いに期待される。			
以上のように本論文は転移性脳腫瘍における分子基盤の解明に貢献するところが大きく、審査委員会は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。			

(注) 報告番号は記入しないこと。